

中小企業振興会議の今後の進め方について

現状

期間 : 1年サイクル

進め方 : 2月 テーマ決め → 事前意見集約 → 6月 審議 → 審議内容集約 → 10月 施策の方向性提案

【現在の課題と原因】

課題	原因
議論が収束せず、結論の具体性に欠ける	議論のテーマが抽象的で、取れる選択肢が見えづらい。
審議量が不十分	意見出し⇔施策示す の1往復のみであり、委員の情報収集の場がない。
取組結果が不明	議論が単発で終了しており、振り返りが議題化されていない。
現在の取組不明	審議テーマ以外の情報を共有していない。

→ 議論内容を絞り込めていない・審議に関わる情報（判断材料）が不足している状況

今後の方針

【基本的な方向性】

事務局において判断に資する情報（既存施策など）や選択肢を整理・共有し、委員が施策の方向性を議論・検討しやすい流れへ

以下3点を会議に組み込み、2か年かけて協議を進める。

- I これまでの取組の進捗状況・市をはじめ国や道など行政の既存施策を示す。
- II テーマに関する情報収集・情報共有の機会を設ける。
- III 審議の際、議題を具体的に絞る（問いや論点、選択肢を提示する。）。

【令和8年度～令和9年度における進め方案】テーマ：人材確保

1年目 課題整理・方向性決定

(今回)

- 6月
- ・既存施策の情報提供
 - ・アンケートの協力依頼

(7月) 商業労政課で開催される
「外国人材活用セミナー」

- 10月
- ・アンケートを踏まえた施策の
選択肢の提示
(例：外国人の雇用施策、若者向けPR、
DX支援、人材共有制度)

(仮) 選択肢に関連した勉強会

- 2月
- ・施策の方向性を決定

2年目 具体施策化

- 6月
- ・決定した方向性に沿って、
市として実施すべき施策内容を審議
(例：DX支援を優先すべき
→ 補助金 or アドバイザー派遣など)

- 8月
- ・具体的な施策案の意見交換、
意見書たたき台の決定

9月

**振興会議としての
施策案（意見書）の協議・決定**
(予算への反映等を検討するため、
1か月早く開催)

- 2月
- ・次年度施策の報告
 - ・次回以降の運営協議
(諮問答申の形式も視野)

2年目 具体施策化へ